

管理者

院長 工藤 美樹

標榜診療科目

内科，循環器内科，呼吸器内科，消化器内科，脳神経内科，人工透析外科，外科，消化器外科，整形外科，リハビリテーション科，小児科，皮膚科，産婦人科，泌尿器科，眼科，耳鼻咽喉科，放射線科，麻酔科，歯科口腔外科（入院対応のみ），精神科（入院対応のみ），病理診断科，緩和ケア内科，リウマチ科，救急科

一般診療時間

外来診療受付時間

午前 8：30 ～ 午後 5：15 診療科によって異なりますので、受付でお尋ねください。

休診日

土曜日・日曜日・祝祭日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

| 看護 | |
|--|---|
| 当院は、厚生労働大臣が定める基準による「看護」を行っている保険医療機関であり、次の基準について中国四国厚生局長に届け出ています。 | |
| 一般病棟入院基本料 イ急性期一般入院料 1（4 西病棟・7 階病棟を除く） | |
| ① 7：1 看護 | 1 人の看護職員（看護師・准看護師）が平均して（日勤・夜勤合わせて）7 人の入院患者さんを受け持ちます。（時間帯ごとの看護職員数は、各病棟に掲示しています。） |
| ②看護師比率 | 看護職員の最小必要数の 7 割以上が看護師です。 |
| ③平均在院日数 | 平均在院日数は、16 日以内です。 |
| ④重症度、医療・看護必要度 | 医療・看護必要度Ⅱ 基準①20%以上、基準②27%以上 |
| ⑤在宅復帰率 | 80%以上です。 |
| ⑥急性期看護補助体制加算 | 入院患者 25 人に対して 1 人以上の看護補助者がいます。（看護補助者 5 割以上） 夜間における看護業務の補助の体制について、入院患者 100 人に対して 1 人以上の看護補助者がいます。 |
| ⑦看護職員夜間配置加算 | 看護職員の手厚い夜間配置を評価したものであり、夜勤の看護職員を 3 人以上配置しています。 |
| 地域包括ケア病棟入院料 2（4 西病棟） | |
| ① 13：1 看護 | 1 人の看護職員（看護師・准看護師）が平均して（日勤・夜勤合わせて）13 人の入院患者さんを受け持ちます。（時間帯ごとの看護職員数は、4 西病棟に掲示しています。） |
| ②看護師比率 | 看護職員の最小必要数の 7 割以上が看護師です。 |
| ③重症度、医療・看護必要度 | 医療・看護必要度Ⅱ 8%以上です。 |
| ④在宅復帰率 | 72.5%以上です。 |
| ⑤看護職員配置加算 | 入院患者 50 人に対して 1 人以上の看護職員がいます。 |
| ⑥看護補助体制充実加算 | 入院患者 25 人に対して 1 人以上の看護補助者がいます。 |
| 緩和ケア病棟入院料 2（7 階病棟） | |
| ① 7：1 看護 | 1 人の看護師が平均して（日勤・夜勤合わせて）7 人の入院患者さんを受け持ちます。（時間帯ごとの看護師数は、各病棟に掲示しています。） |
| ②病棟床面積及び病室床面積 | 患者 1 人につき、内法で、それぞれ 30 m ² 及び 8 m ² 以上あります。 |
| 入院診療計画実施 | 医師、看護師等の共同により、入院に関し必要な事項が記載された総合的な診療計画を策定し、説明致します。 |
| 院内感染防止対策 | メチシリン耐性黄色ブドウ球菌等の感染を防止するにつき十分な設備を有し、体制を整備しています。 |
| 医療安全管理体制 | 医療安全管理体制を整備しています。 |
| 褥瘡対策実施 | 褥瘡対策につき十分な体制を整備しています。 |
| 栄養管理体制 | 入院患者ごとに作成された栄養管理計画に基づき、関係職種が共同して患者の栄養状態等の栄養管理を行っています。 |
| 付添看護 | 患者さんの負担による付添看護は行っていません。 |

診療案内

| DPC 対象病院 | |
|---|--|
| 当院は、入院医療費の算定に当たり、包括評価と出来高評価を組み合わせるD P C対象病院です。 | |
| 基礎係数 1. 0 4 5 1 機能評価係数Ⅰ 0. 3 4 7 3 機能評価係数Ⅱ 0. 0 6 4 5 救急補正係数 0. 0 1 8 6 計 1. 4 7 5 5（令和7年11月1日現在） | |
| 救急告示病院 | |
| 当院は、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令8号）第1条の規定により、救急医療機関として認定を受けている病院です。 | |
| 食事 | |
| 入院時食事療養（Ⅰ） | 患者さんの年齢・病状等に応じて適切な栄養量及び内容で管理栄養士によって管理された食事療養を、適時（夕食については午後6時以降）・適温で提供します。入院時食事療養標準負担額 1食 510円（一般の方） |
| 特別食加算 | 疾病治療の直接手段として、医師の発行する食事箋に基づき提供された適切な栄養量及び内容を有する腎臓食、肝臓食、糖尿食、胃潰瘍食、貧血食、膵臓食、脂質異常症食、痛風食、フェニールケトン尿症食、楓糖尿症食、ホモシスチン尿症食、ガラクトース血症食、治療乳、無菌食及び特別な場合の検査食（単なる流動食及び軟食を除く）を提供します。 |
| 食堂加算 | 食堂における食事療養を提供します。 |
| 施設基準 | |
| 基本診療料 | |
| 医療DX推進体制整備加算 | オンライン資格確認により取得した診療情報・薬剤情報を実際に診療に活用可能な体制を整備しています。 |
| 救急医療管理加算 | 当院は休日及び夜間における救急医療の確保のために診療を行っている地域医療支援病院です。 |
| 診療録管理体制加算1 | 適切に診療録を保管・管理するための施設及び設備を有し、必要な体制を整備しています。 |
| 医師事務作業補助体制加算1 | 病床数20床ごとに医師事務作業補助者を1名配置しています。 |
| 療養環境加算 | 当該病棟内の1床あたりの平均面積は8㎡以上で整備しています。 |
| 重症者等療養環境特別加算 | 特に医療上の必要から重症者を個室又は2人部屋に入院させる病室を整備しています。 |
| 医療安全対策加算1 | 医療安全管理部門によって医療安全確保のための業務改善等を、組織的・継続的に実施しています。 |
| 感染対策向上加算1 | 感染制御のチームを設置し、院内感染防止対策を行っています。 |
| 患者サポート体制充実加算 | 患者さんと医療従事者との対話促進となるよう体制を整えております。 |
| 報告書管理体制加算 | 報告管理のための支援や業務改善等を継続的に実施しています。 |
| 褥瘡ハイリスク患者ケア加算 | 褥瘡ケアが必要な患者に対し、予防治療計画に基づく総合的な褥瘡対策を継続して実施しています。 |
| 術後疼痛管理チーム加算 | 術後疼痛管理に係る多職種からなるチームが必要な疼痛管理を実施しています。 |
| 後発医薬品使用体制加算2 | 後発医薬品の使用を促進するための体制を有し、院内において使用する後発医薬品の割合が一定数以上です。 |
| 病棟薬剤業務実施加算1 | 病棟専任の薬剤師が1病棟1週間につき20時間以上、薬物療法の有効性等に資する薬剤業務を実施しています。 |
| データ提出加算 | 急性期入院医療を担う医療機関の機能等を適切に分析・評価するために、厚生労働省にデータを提出しています。 |
| 入退院支援加算 | 退院支援部門を設置し、入院早期より退院困難な要因を有する患者さんを抽出し退院支援を実施しています。 |
| 認知症ケア加算 | 認知症状の悪化を予防し身体疾患の治療を円滑に受けられる体制を確保しています。 |
| せん妄ハイリスク患者ケア加算 | せん妄のリスクを確認し、その結果に基づいてせん妄対策の必要を認め、当該対策を行っています。 |
| 排尿自立支援加算 | 排尿ケアチームと連携し下部尿路機能の回復のための包括的なケアを実施しています。 |
| 歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準 | 口腔内で使用する歯科医療機器等について、洗浄・滅菌処理を徹底し、十分な院内感染防止対策を講じています。 |
| 特掲診療料 | |
| 外来栄養食事指導料の注2 | 外来化学療法を実施している悪性腫瘍の患者に対する栄養食事指導を行うにつき、十分な体制が確保されています。 |
| 外来栄養食事指導料の注3 | 外来化学療法を実施している悪性腫瘍の患者に対する栄養食事指導を行うにつき、十分な体制が確保されています。 |
| 心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算 | 遠隔モニタリングに対応したペースメーカー、細動器を使用している患者について適切な管理を行い、状況に応じて適宜患者に来院等を促す体制が整備されています。 |
| がん性疼痛緩和指導管理料 | がん性疼痛緩和の指導を担当する所定の研修を修了した医師、看護師を配置しています。 |
| がん患者指導管理料口 | がん患者に対して指導管理を行うにつき十分な体制が整備されています。（医師及び看護師） |
| がん患者指導管理料ハ | がん患者に対して指導管理を行うにつき十分な体制が整備されています。（抗悪性腫瘍剤の投薬又は注射の必要性） |
| がん患者指導管理料ニ | がん患者に対して指導管理を行うにつき十分な体制が整備されています。（遺伝子検査説明） |
| 婦人科特定疾患治療管理料 | 婦人科疾患の診療を行うにつき十分な経験を有する医師が配置されています。 |
| 二次性骨折予防継続管理料1 | 大腿骨近位部骨折手術に対し、二次性骨折の予防を目的に骨粗鬆症の計画的な評価及び治療等を実施しています。 |
| 二次性骨折予防継続管理料2 | 大腿骨近位部骨折手術に対し、二次性骨折の予防を目的に骨粗鬆症の計画的な評価及び治療等を実施しています。 |
| 二次性骨折予防継続管理料3 | 大腿骨近位部骨折手術に対し、二次性骨折の予防を目的に骨粗鬆症の計画的な評価及び治療等を実施しています。 |
| 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定する救急搬送看護体制加算 | 休日又は深夜において、救急用の自動車等により緊急に搬送された患者に対して必要な医学管理を行うにつき必要な体制が整備されています。 |
| 外来腫瘍化学療法診療料1 | 外来化学療法及び副作用等に係る検査又は投薬等を行うにつき必要な体制が整備されています。 |
| 外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算 | 薬剤師が、医師の診察前に患者から服薬状況、副作用等の情報収集及び評価を実施し、情報提供や処方提案等を行った上で、医師がそれを踏まえて、より適切な診療方針を立てることができる体制が整備されています。 |
| 連携充実加算 | 化学療法を実施している患者の栄養管理を行うにつき必要な体制が整備されています。 |
| ニコチン依存症管理料 | 当該診療を行うにつき、必要な体制を整備し、禁煙治療の経験を有する医師を配置しています。 |
| 開放型病院共同指導料 | 地域の医師会と合意により、地域医療支援病院として施設・設備の開放を行っており、規程に明示しています。 |
| がん治療連携指導料 | 患者個別の治療計画に基づく診療を行い、計画策定病院に診療に関する情報（治療経過等）を提供しています。 |
| 外来排尿自立指導料 | 入院中に退院後の包括的排尿ケアの必要性を認めた場合に、外来において引き続き包括的排尿ケアを実施しています。 |
| 肝炎インターフェロン治療計画料 | 当該治療を行うにつき、十分な体制を整備し、専ら担当する常勤の医師を配置しています。 |
| 薬剤管理指導料 | 入院中の患者に対し、適切な薬学的管理（副作用の把握を含む）及び、薬剤師による服薬指導を行っています。 |

| 施設基準 | |
|--|--|
| 特掲診療科 | |
| 医療機器安全管理料 1 | 医療機器安全管理に係る体制を整備しています。 |
| 在宅療養後方支援病院 | 連携医療機関の求めに応じて、入院希望者の診療が24時間可能な体制を確保しています。 また、緊急入院の必要が生じた場合に入院できる病床を確保しています。 |
| 遺伝学的検査の注1に規定する施設基準 | 特に定められ疾患に限る遺伝学的検査を実施できる体制を整備しています。 |
| H P V 核酸検出及びH P V 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定） B R C A 1／2 遺伝子検査 検体検査管理加算（Ⅱ） 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト 胎児心エコー法 ヘッドアップティルト試験 | 当該検査を行うにつき、5年以上の経験を有する医師を配置しています。 |
| | 当該検査を行うにつき十分な体制が整備されています。 |
| | 検体検査管理を行うにつき、十分な体制を整備し、臨床検査を担当する常勤の医師を配置しています。 |
| | 当該検査を行うにつき、5年以上の経験を有する医師を配置しています。 |
| | 当該検査を行うにつき必要な医師が配置しており、十分な体制を整備しています。 |
| | 当該検査を行うにつき必要な医師が配置しており、十分な体制を整備しています。 |
| | 当該検査を行うにつき必要な医師が配置しており、十分な体制を整備しています。 |
| | 当該検査を行うにつき必要な医師が配置しており、十分な体制を整備しています。 |
| ロービジョン検査判断料 | 当該検査を行うにつき必要な医師が配置しており、十分な体制を整備しています。 |
| 内服・点滴誘発試験 | 当該試験を行うにつき、必要な体制を整備しています。 |
| 画像診断管理加算 2 | 画像診断管理を行うにつき、十分な体制を整備し、専ら担当する常勤の医師を配置しています。 |
| C T 撮影及びM R I 撮影 冠動脈C T 撮影加算 心臓M R I 撮影加算 抗悪性腫瘍剤処方管理加算 外来化学療法加算 1 | 64 列以上のマルチスライスC T 装置及び1.5 テスラ以上3 テスラ未満のM R I 装置による撮影が可能です。 |
| | 64 列以上のマルチスライスC T 装置による撮影が可能です。 |
| | 撮影を行うにつき、十分な体制を整備し、専ら担当する常勤の医師を配置しています。 |
| | 当該処方を行うにつき、必要な体制を整備しています。 |
| | 外来化学療法を行うにつき十分な施設を有し、専任の常勤医師、専任の常勤看護師及び常勤薬剤師を配置しています。 |
| 無菌製剤処理料 | 無菌製剤処理を行うにつき、十分な施設を有し、必要な体制を整備しています。 |
| 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ） | 当該リハビリテーションを行うにつき、十分な専用施設を有し、必要な専任医師及び専従療法士を配置しています。 |
| 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ） | |
| 廃用症候群リハビリテーション科（Ⅰ） | |
| 運動器リハビリテーション料（Ⅰ） | |
| 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ） | |
| がん患者リハビリテーション料 | 当該リハビリテーションを行うにつき、十分な専用施設を有し、必要な専任医師及び専従療法士を配置しています。 |
| 摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算 2 | 摂食機能又は嚥下機能の回復のために必要な指導管理を行うにつき十分な体制が整備されています。 |
| 人工腎臓 | 関連学会から示されている基準に基づき、水質管理を適切に実施しています。 |
| 導入期加算 2 及び腎代替療法実施加算 | 関連学会の作成した資料を用いて、腎代替療法について十分な説明のできる体制を有しています。 |
| 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算 下肢末梢動脈疾患指導管理加算 緊急整復固定加算及び緊急挿入加算 椎間板内酵素注入療法 緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの）） | 透析治療透析液の水質管理及び複雑な慢性維持透析濾過について十分な体制が整備されています。 |
| | 下肢末梢動脈疾患に関するリスク評価を行い、慢性維持透析を実施している全ての患者に指導管理を行っています。専門的な治療体制を有している広島大学病院と連携しています。 |
| | 整形外科について5年以上の経験を有する常勤の医師が2名以上配置され、緊急手術が可能な体制を有しています。 |
| | 整形外科について10年以上の経験を有する常勤医師が1名以上配置しており、緊急手術が可能な体制を有しています。当院は、当該療法について関係学会から認定された施設です。 |
| | 眼科の経験を5年以上有する常勤の医師が1名以上配置されています。濾過手術又は緑内障インプラント手術が合わせて50例以上実施されています。 |
| | 当該療養を行うにつき十分な専用施設を有している病院です。 |
| 緑内障手術（緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術） | 当該療養を行うにつき十分な専用施設を有している病院です。 |
| 緑内障手術（濾過胞再建術（needle法）） | |
| 乳がんセンチネルリンパ節加算 2（単独法） | 当該手術を行うにつき、5年以上の経験を有する医師が配置され、患者の緊急手術に対応できる体制及び手術室を整備しています。 |
| 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膣腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの） | 当院は、消化器外科を標榜し、消化器外科の医師が1名以上配置されています。 また、関係学会により認定された施設であり、緊急手術の体制が整備されています。 |
| 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） | 当該手術の術者として300例以上の経験を有する常勤の医師を1名以上配置しています。 |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 | 循環器内科又は心臓血管外科の経験を5年以上有する医師が1名以上配置されている。 |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー） | 当該手術を合わせて年間10以上実施しています。連携により緊急手術が可能な体制を有しています。 |
| 大動脈バルーンパンピング法（IABP法） | 大動脈バルーンパンピング法を行うにつき、5年以上の経験を有する医師が配置され、患者の緊急手術に対応できる体制及び手術室を整備しています。 |
| 内視鏡的小腸ポリープ切除術 | 当該療養を行うにつき、十分な専用施設を有し、必要な医師及び看護師が配置されています。 |

| 特掲診療科 | |
|---|--|
| 膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道） | 泌尿器科の経験を5年以上有しており、膀胱水圧拡張術を当該手術に習熟した医師の指導の下に術者として5例以上実施した経験を有する医師が配置されています。 |
| 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの） | 泌尿器科の経験を5年以上有する常勤の医師が2名以上配置されています。前立腺悪性腫瘍手術に係る手術が1年間に合わせて20例以上実施されています。 |
| 医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術 | 摂食機能に係る療養を行うにつき相当の実績を有し、十分な体制が整備されています。 |
| 輸血管理料Ⅱ 人工肛門・人工膀胱増設術前処置加算 胃瘻増設時嚥下機能評価加算 麻酔管理料Ⅰ 周術期薬剤管理加算 | 輸血管理を行うにつき、十分な体制を整備し、常勤医師及び専任の常勤臨床検査技師を配置しています。 |
| | 当該療養を行うにつき、必要な医師及び5年以上の経験を有し、所要の研修を修了した看護師を配置しています。 |
| | 胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）を実施した症例数は、1年間で50症例未満です。 |
| | 麻酔管理を行うにつき、十分な体制を整備し、専ら担当する常勤の医師を配置しています。 |
| 病理診断管理加算1 | 薬剤師が連携して、周術期に必要な薬学的管理を行うにつき十分な体制が整備されている。 |
| 病理診断管理加算1 | 病理診断管理を行うにつき、十分な体制が整備されており、病理診断を専ら担当する常勤医師を配置しています。 |
| 悪性腫瘍病理組織標本加算 | 悪性腫瘍手術の検体から病理組織標本作成により作成された組織標本に基づく診断を行う体制を有しています。 |
| 口腔病理診断加算1 | 病理診断管理を行うにつき、十分な体制が整備されており、病理診断を専ら担当する常勤医師を配置しています。 |
| 看護職員処遇改善評価料 | 保険医療機関に勤務する保健師、助産師、看護師及び准看護師の賃金を改善するための措置を実施することを評価したものです。 |
| 外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ） | 人材確保に努め、良質な医療提供を続けることができるようにするための取組です。 |
| 歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ） | 人材確保に努め、良質な医療提供を続けることができるようにするための取組です。 |
| 入院ベースアップ評価料 | 人材確保に努め、良質な医療提供を続けることができるようにするための取組です。 |

保険外負担

当院では、次の項目について、その使用量、利用回数等に応じた実費の負担をお願いしています。なお、衛生材料等の治療行為及びそれに密接に関連した「サービス」や「物」についての費用の徴収や、「施設管理費」等の曖昧な名目での費用の徴収は、一切認められておりません。

| 1. 健康診断等 | | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|--------------|----------------------|----------------------------|---------|
| (1) 人間ドック（基本） | | 42,900円 | (6) 動脈硬化検査 | | 2,200円 |
| (2) 前立腺がん検査 | | 2,200円 | (7) 肺がん検査 | | 11,000円 |
| (3) 骨密度検査 | | 4,400円 | (8) 脳ドック（MRI） | | 22,000円 |
| (4) 子宮がん検査 内診、細胞診等 経膈エコー | | 5,500円 | (9) 大腸内視鏡検査 全大腸検査 | | 16,000円 |
| | | 3,300円 | | | |
| | | | | | |
| (5) 乳がん検査 マンモグラフィ | | 3,300円 | | | |
| 乳腺超音波 | | 3,300円 | | | |
| 2. 文書料 | | | | | |
| 当院書式 | 診断書 | 2,200円 | その他 | 国民・厚生年金診断書 | 5,500円 |
| | 証明書 | 2,200円 | | 障害年金申請診断書 | 5,500円 |
| | 領収証明書 | 1,650円 | | 受診状況等証明書 | 2,200円 |
| 関係 自賠責 | 自賠責診断書 | 5,500円 | | 医薬品副作用被害救済制度（診断書） | 5,500円 |
| | 自賠責診療明細書 | 1,100円 | | 医薬品副作用被害救済制度（証明書） | 2,200円 |
| | 難病医療費助成制度 臨床調査個人票（新規・更新） | 無料 | | 死亡診断書 | 5,500円 |
| | 小児慢性疾患医師意見書 | 無料 | | | |
| | 更正医療用診断書（新規） | 3,300円 | | 出産手当金支給請求書における医師又は助産師の証明 | 2,200円 |
| 公費負担申請関連 | 育成医療用診断書 | 3,300円 | | 診断書・証明書（生命保険等保険給付を受けるため） | 5,500円 |
| | 診断書兼意見書（精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療費用） | 3,300円 | | 診断書（その他） | 5,500円 |
| | 身体障害者診断書 | 3,300円 | | 診断書（免許・資格申請書等） | 2,200円 |
| | 肝炎インターフェロン治療受給者有効期間延長申請書 | 3,300円 | | 照会回答書・意見書（生命保険等保険給付を受けるため） | 5,500円 |
| | | | | 証明書・意見書（公費関連申請を除く） | 2,200円 |
| | | | | 肝炎ウイルス持続感染者の病態に係る診断書 | 3,300円 |
| | 原爆被爆者手当用診断書（介護手当） | 3,300円 | | 接種痕意見書（B型肝炎又は種痘） | 3,300円 |
| | 原爆被爆者手当用診断書（健康管理手当） | 3,300円 | | おむつ証明書・ストーマ証明書 | 1,100円 |
| | 原爆被爆者医療特別手当用意見書及び健康診断個人票（新規） | 3,300円 | | 里帰り紹介状 | 2,750円 |
| | | 尿中乱用薬物検査 診断書 | | 9,812円 | |
| 3. 画像コピー料金（CD-R 1枚につき） | | | | | |
| CT・MRI・X線等 | | 1,100円 | | | |

保険外負担

4. 予防接種料金

| | | | |
|---------------------------------|---------|---|------------|
| (1) ムンプス流行性耳下腺炎、おたふくかぜ | 6,391円 | (15) 日本脳炎 | 6,688円 |
| (2) MR（麻疹・風疹混合） | 9,306円 | (16) 破傷風 | 3,998円 |
| (3) ミールビック | 10,131円 | (17) ヒブワクチン（Hib）（インフルエンザ） | 7,794円 |
| (4) 水痘 | 7,898円 | (18) ニューモバックス | 7,810円 |
| (5) インフルエンザ（13歳以上）【季節性】 | 4,600円 | (19) 子宮頸がん予防ワクチン（ガーダシル）予約制 | 16,588円 |
| (6) インフルエンザ（生後6か月～13歳未満）【季節性】 | 3,300円 | (20) 子宮頸がん予防ワクチン（シルガード）予約制 | 26,840円 |
| (7) インフルエンザ（フルミスト点鼻液） | 8,700円 | (21) バクニュバンス（肺炎球菌結合型ワクチン） プレベナー20（肺炎球菌結合型ワクチン） | 11,440円 |
| (8) ビームゲン（0.25）10歳未満 | 5,390円 | (22) BCG | 6,479円 |
| (9) ビームゲン（0.5）10歳以上 | 5,711円 | (23) ロタウィルスワクチン | 14,058円 |
| (10) エイムゲン | 7,788円 | (24) イモバックスワクチン（不活化） | 9,383円 |
| (11) 二種混合（ジフテリア・破傷風） | 5,170円 | (25) 風疹 | 6,391円 |
| (12) 三種混合（ジフテリア・破傷風・百日咳） | 5,049円 | (26) 麻疹 | 6,412円 |
| (13) 四種混合（ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ） | 10,065円 | (27) 帯状疱疹不活性化ワクチン シングリックス筋注用（2回接種要す） | 1回 21,560円 |
| (14) 五種混合（ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ・ヒブ） | 19,580円 | | |

5. その他

| | | | |
|----------------------|---------|---------------------|---------|
| (1) セカンドオピニオン（30分以内） | 11,000円 | (9) 面談料（保険会社等） | 3,300円 |
| 以後30分までごとに | 5,500円 | (10) 家族面談料 | 3,170円 |
| (2) 乳児検診 | 3,168円 | (11) 診療記録等開示手数料 | 1,100円 |
| (3) 新生児聴力検査 | 6,600円 | (12) 診療記録等開示実施料 | |
| (4) ノロウィルス自費検査 | 3,080円 | ①説明文書の交付 1文書あたり | 5,500円 |
| | | ②診療記録の閲覧 2時間以内 | 5,500円 |
| | | 2時間を超える30分毎 | 2,750円 |
| (5) 遺体処置料 | 3,520円 | ③診療記録の写し用紙 1枚あたり | 11円 |
| | | CD-R1枚あたり | 1,100円 |
| | | DVD-R1枚あたり | 2,200円 |
| (6) ガーゼ寝巻 | 1,595円 | ④口頭による説明 1時間以内 | 11,000円 |
| | | 1時間を超える30分毎 | 5,500円 |
| | | (13) 医療材料（ストーマ材料） | |
| (7) 診察券再発行 | 110円 | ① ポスパックB 484円 | |
| | | ② オープントップM 990円 | |
| | | ③ オープントップL 1,100円 | |
| | | ④ オープントップLL 1,320円 | |
| | | ⑤ ストーマ剥離スプレー 1,947円 | |
| | | (14) 医療材料 | |
| (8) 処方箋再発行 | 770円 | ① 腹帯 M・L 1,045円 | |
| | | ② 腹帯 LL 1,804円 | |

6. 保険外併療養費

| | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| (1) 初診に係る選定療養費 | 7,700円 |
| (2) 再診に係る選定療養費 | 3,300円 |
| (3) 180日を超えた日以降の入院療養 | 2,780円/1日当たり |
| (4) 間歇スキャン式持続血糖測定機に係る選定療養費 | FreeStyle リブレ2センサー 6,250円 |
| | FreeStyle リブレ2Reader 7,798円 |
| (5) 多焦点眼内レンズ使用に係る選定療養費 | 多焦点眼内レンズ PureSee 273,200円 |
| | 多焦点眼内レンズ PureSee Toric 295,200円 |
| (6) 制限回数を超えて行う診療 | 腫瘍マーカー 癌胎児性抗原（CEA）精密検査 2,673円 |
| | 腫瘍マーカー α-フェトプロテイン（AFP）精密検査 2,662円 |
| | 心臓疾患リハビリテーション料（Ⅰ） 2,255円 |
| | 脳血管疾患リハビリテーション料（Ⅱ） 2,200円 |
| | 廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ） 1,606円 |
| | 運動器リハビリテーション料（Ⅰ） 2,035円 |
| | 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ） 1,925円 |
| | 前立腺特異抗原（PSA） 2,915円 |
| | CA19-9 2,915円 |

| 室料差額 | |
|----------------|--|
| 20,900円(税込)の部屋 | (7階病棟) 713 |
| 13,200円(税込)の部屋 | (4東病棟) 400 (5西病棟) 561、(6西病棟) 661 |
| 8,800円(税込)の部屋 | (4東病棟) 402、403、408、410、411、412、413、415、417、418、420、421、422、423、427 (4西病棟) 453、455、456、457、458、460、461、462、463、468 (5東病棟) 503、505、506、507、508、510、511、512、513、515、516 (5西病棟) 553、555、556、557、558、560、562、563、565、566 (6東病棟) 603、605、606、607、608、610、611、612、613、615、616、617 (6西病棟) 653、655、656、657、658、660、662、663、665、666 |

| 当院の 2024 年実施手術件数表 | | | |
|------------------------|-----|--|-----|
| 区分1に分類される手術 | | その他の手術に分類される件数 | |
| ア. 頭蓋内腫瘍摘出術等 | 無 | 人工関節置換術 | 4件 |
| イ. 黄斑下手術等 | 無 | 乳児外科施設基準対象手術 | 無 |
| ウ. 鼓室形成手術等 | 無 | ペースメーカー移植術及び交換術 | 27件 |
| エ. 肺悪性腫瘍手術等 | 無 | 冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む。）及び体外循環を要する手術 | 無 |
| オ. 経皮的カテーテル心筋焼灼術 | 無 | | |
| 区分2に分類される手術 | | 経皮的冠動脈形成術 | |
| ア. 靱帯断裂形成手術等 | 1件 | 急性心筋梗塞に対するもの | 1件 |
| イ. 水頭症手術等 | 無 | 不安定狭心症に対するもの | 1件 |
| ウ. 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等 | 無 | その他のもの | 11件 |
| エ. 尿道形成手術等 | 33件 | 経皮的冠動脈ステント留置術 | |
| オ. 角膜移植術 | 無 | 急性心筋梗塞に対するもの | 7件 |
| カ. 肝切除術等 | 1件 | 不安定狭心症に対するもの | 7件 |
| キ. 子宮附属器悪性腫瘍手術等 | 無 | その他のもの | 22件 |
| 区分3に分類される手術 | | 当該施設における 大腿骨近位部骨折後48時間以内に手術実施した件数36件 | |
| ア. 上顎骨形成術等 | 無 | | |
| イ. 上顎骨悪性腫瘍手術等 | 無 | | |
| ウ. バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉） | 無 | | |
| エ. 母指化手術等 | 無 | | |
| オ. 内反足手術等 | 無 | | |
| カ. 食道切除再建術等 | 無 | | |
| キ. 同種腎移植術等 | 無 | | |
| 区分4に分類される手術の件数 | | | |
| | | 169件 | |

※件数の集計期間は、2024年1月1日から2024年12月31日までの1年間です。

保険外負担（各部門）

| 1. 産婦人科 | | | | | |
|-------------------------------|---------|-----------------|------------------------------------|-----------|---------|
| 1. 検診 | 金額 | 7. 妊婦健診料 | 料 金 | 補助券利用時負担額 | |
| | | | | 広島市 | 広島市外県内 |
| 子宮頸がん検診 | 5,500円 | | | | |
| 子宮体がん検診 | 5,500円 | | | 0円 | 0円 |
| 経膈超音波検査 | 3,300円 | 妊娠健診 10 週～13 週頃 | 21,470円 | 0円 | 0円 |
| | | 妊娠健診 14 週～17 週頃 | 6,030円 | 0円 | 0円 |
| 2. 妊婦健診料 | | 妊娠健診 16 週～21 週頃 | 11,830円 | 5,650円 | 5,800円 |
| 妊婦健診（初回、母子手帳交付前） | 8,000円 | 妊娠健診 22 週～24 週頃 | 6,030円 | 0円 | 0円 |
| 妊婦健診（再診、母子手帳交付前） | 1,000円 | 妊娠健診 25 週～26 週頃 | 8,070円 | 0円 | 0円 |
| 3. 文書料 | | 妊娠健診 27 週～28 週頃 | 6,030円 | 0円 | 0円 |
| 診断書（職場提出用） | 2,200円 | 妊娠健診 29 週～30 週頃 | 11,830円 | 5,650円 | 5,800円 |
| 診断書（生命保険用） | 5,500円 | 妊娠健診 31 週～32 週頃 | 6,030円 | 0円 | 0円 |
| 里帰り紹介状 | 2,750円 | 妊娠健診 34 週頃 | 6,030円 | 0円 | 0円 |
| 4. 予防接種 | | 産後健診（産後 2 週間頃） | 5,000円 | 0円 | 0円 |
| 風疹ワクチン | 6,391円 | 産後健診（産後 1 ヶ月頃） | 5,000円 | 0円 | 0円 |
| MR（麻疹、風疹ワクチン） | 9,306円 | 8. 産後ケア（宿泊型） | 1 日あたり（双子以上 1 児につき 1,000円/日 追加） | | 28,464円 |
| 子宮頸がんワクチン （ガーダシル、1 回あたり） | 16,588円 | | | | |
| 子宮頸がんワクチン （シルガード 9、1 回あたり） | 26,840円 | | | | |
| | | | | | |
| 5. 子宮内避妊器具 | | | | | |
| IUD 挿入（FD-1） | 30,560円 | | | | |
| IUD 抜去（簡単なもの） | 8,030円 | | | | |
| IUD 抜去（困難なもの） | 16,500円 | | | | |
| 6. ブライダルチェック | | | | | |
| 女性基本 | 19,250円 | | | | |
| オプション A | 6,050円 | | | | |
| オプション B | 3,740円 | | | | |
| オプション C | 2,200円 | | | | |
| 男性基本 | 8,800円 | | | | |
| オプション A | 2,200円 | | | | |
| 7. 診察料 | | | | | |
| 月経移動 | 3,300円 | | | | |
| 母乳外来 | 3,780円 | | | | |

初診及び再診に係る選定療養費について

当院では、厚生労働省で定められた制度により、他の保険医療機関などからの紹介状のご持参がなく、当院に直接来院された場合に選定療養費（初診時 7,700 円（税込）、再診時 3,300 円（税込））のご負担をお願いしています。

ただし、緊急その他やむを得ない事情により、他の保険医療機関からの紹介によらず来院された場合には、この限りではありません。

院内感染の防止について

当院では、感染防止対策を病院全体として取り組み、院内感染発生の予防と発生時の速やかな対応を行っております。また、以下の取り組みを実施しています。

1. 院内感染防止対策委員会を設置し毎月 1 回会議を行い、感染対策に関する事項を検討します。
2. 感染対策室に、感染防止対策の実務を行う感染制御チーム（ICT）と抗菌薬の適正使用を推進する抗菌薬適正支援チーム（AST）を設置しています。
3. 全職員を対象とした研修会を年 2 回以上開催しています。
4. 院内感染の発生の予防及びまん延の防止を図るため、病院における感染菌の検出状況を常に監視しています。
5. 感染症患者が発生した場合は、感染制御チーム（ICT）が現場確認、調査等を行い、速やかに感染対策を講じています。また、届告を行っています。
6. 他の医療機関と連携し、感染予防対策に関する問題点を定期的に検討しています。
7. 院内感染対策マニュアルを整備して職員への周知徹底を図るとともに、マニュアルの定期的な見直し、改訂を行っています。
8. 歯科医療機器等への十分な院内感染防止対策を実施しています。また、感染症患者に対する歯科診療体制を確保しています。

「個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書」の発行について

当院では、医療の透明化や患者への情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行しております。また、公費負担医療の受給者で医療費の自己負担のない方についても、明細書を無料で発行いたします。

なお、明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されるものですので、その点ご理解いただき、ご家族の方が代理で会計を行う場合、その代理の方への発行を含めて、明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨をお申し出ください。

後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用について

当院では、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を積極的に採用しています。ご不明な点がございましたら、主治医又は薬剤師にお尋ねください。

透析患者様の下肢末梢動脈疾患に対する取り組みについて

当院では、慢性維持透析を行っている患者さんに対し、下肢末梢動脈疾患に関する検査を行っております。検査の結果、専門的な治療が必要と判断した場合は、その旨をご説明し同意をいただいた上で、連携医療機関へ紹介させていただいております。

下肢末梢動脈疾患に関する連携医療機関……広島大学病院